

# 問 現状を踏まえた学校教育は

## 答 協働と個別最適化で充実を図る



タブレット端末を活用した総合学習の様子

**問** 協働的な学び合いの機会を確保するため、学校行事は「どうすれば実施可能か」教職員と児童生徒が共に考え工夫しながら行ってきた。学校は、学習機会と学力を保障するだけでなく、全人的な発達や成長を保障する役割を担うため、



公明党 議員  
う え き 植 木 し ん じ 寿

**問** 学校では、コロナ対応で令和2年度の行事なども中止や縮小となった。こうした時でも4つの学べる力が大事と考える。「人を大切

にする力」「自分の考えを持つ力」「自分を表現する力」「チャレンジする力」である。本村では、現状を踏まえ学校教育をどう進めるのか。

子どもたちにとって安心・安全な居場所となるような環境整備に努めていく。協働的な学びの場を設定し、仲間と一緒に学ぶことの楽しさを実感できるようにするとともに、一人1台のタブレット端末を活用し個に応じた学びの充実を図る。

**問** ESD教育にどう取り組むのか。

**答** 各学校に、ESD教育担当を配置する。各教科や総合的な学習の時間などにおいて、環境教育をはじめとする各種教育を行い、その中で、自ら課題を発見しその解決に向け主体的・協働的に探究する力を育成する。

**問** 地域活動担い手確保への推進は

**答** 担い手確保の環境づくり取り組む



自治会長会議で人材の確保と地域づくりに努める

**問** 今後の住民自治を担う人材育成の仕掛けは。

**答** 自治会への加入促進と活動に参加しやすい体制づくりに努める。

**問** 村では、平成27年に協働の指針を策定しメンバーの一人として私も参画した。趣旨としては、「東海村に住んでいる人、学ぶ人、働く人それぞれの立場を尊重しながら、村を愛する一人ひとりの活動を重ね合わせ村を育てよう」というものであった。これを実践するた

め、第6次総合計画や地域福祉計画などを共有し、学び合えるよう役員等と連携を密に人材の確保に努めてもらいたいと考えている。

**答** 今年度は、自治会長同士の意見交換会を開催し、自治会の現状や課題についての率直な意見交換、情報共有、そして自治会長同士の横の連携を図ってきた。また、自治会長連絡会議では他市町村の先進事例を紹介し、新たな視点での自治会活動や事業の振り返り、きっかけづくりにも取り組んできた。今後も、地域活動の人材を確保するための環境づくりと支援に取り組む。

\*ESD教育…持続可能な開発のための教育のこと